

各学校においては、子どもたち一人ひとりの「確かな学力」保障に向けて様々な取り組みが進められています。改めて確認するまでもないかもしれませんが、子どもたちの学校生活の大半は授業時間です。「授業力UP」で「わかる授業」を行うことは、「不登校を生じさせない学校づくり」を進めていく上で、最も大切な条件であると考えています。

今回は、「授業力UP」に向けて、まとめてみました。各校で参考にしてください。

～ 子どもたち，一人ひとりを大切に，達成感が共有できるように，具体的な体験や活動の中で，考える力を育み，基礎・基本が身につく授業を構築しよう。～

授業力UP

で子どもに輝きを！

子ども理解をしよう

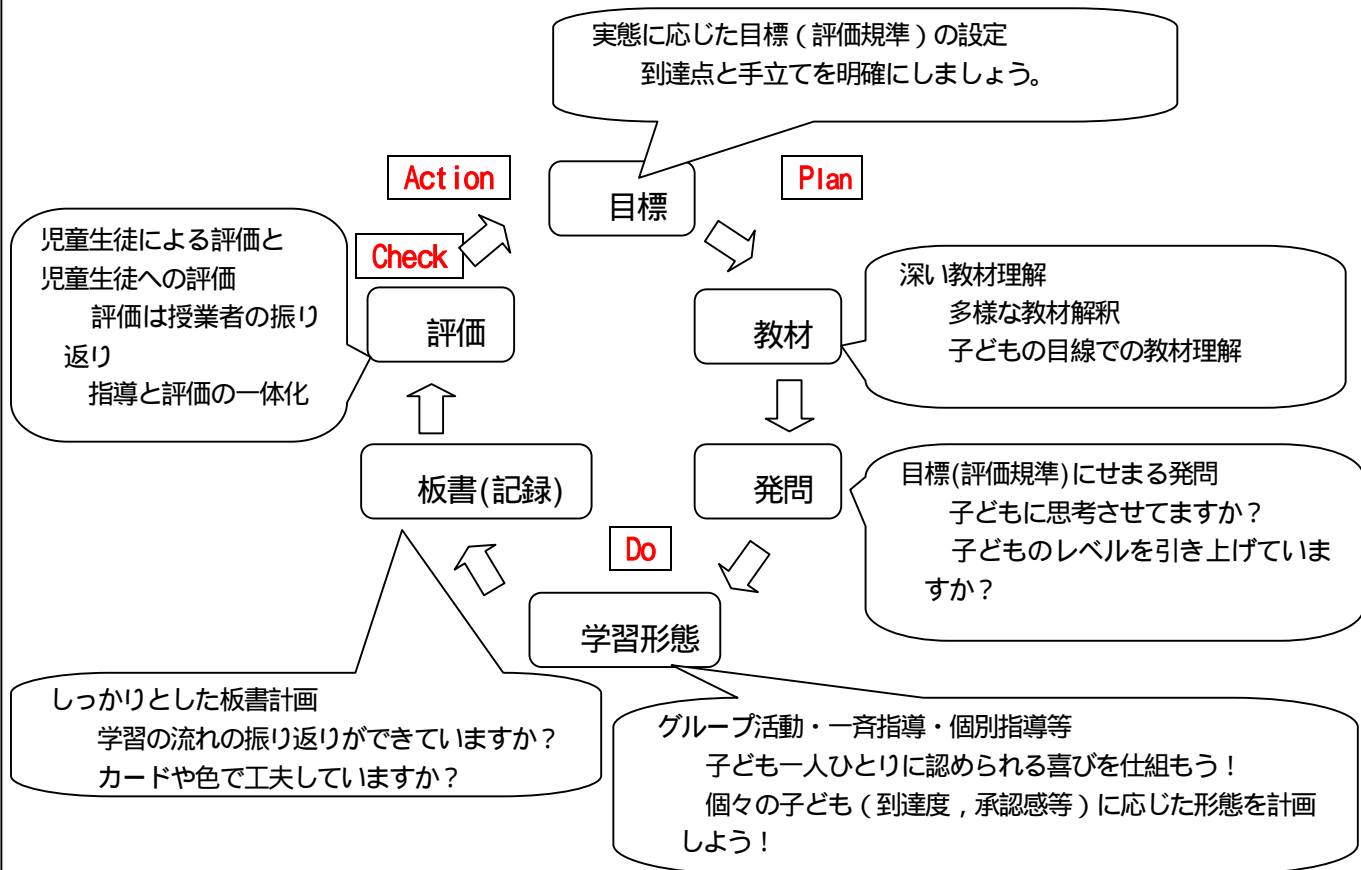
ありのままの姿を理解しよう（朝・終学活，授業，昼食，掃除，部活動等）

子どもの背景（家庭・地域等）を踏まえた理解をしよう（家庭訪問等）

学級の中で子どもを理解しよう（楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-Uの活用等）

確かな指導法を確立しよう

日々の授業を Check しよう



鍛えてジャンプ（確かな学力を）

学んでステップ（子ども同士がつながる）

意欲でホップ（学習集団づくり）

授業研の工夫（確かな Action のために）

子どもの活動に，教師の指導が見えてくる。

ワークショップ形式で，全員参加の授業研を！（裏面参照）

～ 教職員集団の同僚性で，教師は育つ ～

ワークショップを取り入れた授業研をやってみませんか？

- * 全員参加型で、誰もが、率直に気づいたことや、意見を出すことができます。
- * 授業者だけでなく、参加者も「明日の授業のヒント」を得ることができます。
- * ワークシートの視点軸の工夫によって、様々な角度から、授業分析が行えます。

授業前にやっておくこと。

- ・ 付箋の書き方の説明
- ・ 授業を見る視点の確認
- ・ ワークシート（視点軸）の作製

参観するときの留意点

- ・ 小さな気づきも大切に！
- ・ 子どもの様子を見取ろう。

1 授業研の進め方を説明する。

- ・ 目的、流れ、時間の確認 ・ ワークショップの手順の確認

2 授業者が授業の意図を説明し、質問に答える。

- ・ 教師の願いや工夫したところ ・ 意見や助言をもらいたいところ
- * 参観者の意見は出さずに、質問にとどめる。

3 グループで授業を分析、課題解決をします。

ワークシートに付箋を貼ります。

付箋をグルーピングして、タイトルをつけます。

グルーピングしたものの同士の関係を議論し、関連性を図示しましょう。

課題について、具体的解決策を考えましょう。

グループを線で囲み、タイトルは大きな字で書きましょう。

4 グループ発表をします。（シェアリング）

- ・ グループごとの話し合いを共有化 ・ 解決策の共有化

司会者が黒板等に整理すると共有化が図りやすい。

* 4の「グループの発表」まででも効果があります。それぞれ工夫してみましょう。

5 授業者の感想を聞く。

6 参加者が自己の振り返りを行う。

7 まとめ

課題解決に向けて、全体で議論する時間に利用してもいいのでは。

ワークシート（視点軸）例

